

— 医療プログラム —

* 重い腎臓病らしいレオポルド君 (10 歳) の緊急特別支援

「らしい」というのは、CMB クリニックは、経費のかかる精密検査まで支援できなくて、患者は一旦キアミコミュニティーに戻っていたからです。首周り手足の異常なむくみ具合から、かなり症状が進んでいることが分かります(写真)。

当会の医療プログラム支援金月額約 10 万円は、巡回診療、コミュニティー常備薬配布、公立病院受診・入院支援を通じて、月平均 200~300 人のために使われています。レオポルド 1 人のために全予算を使えない現地の苦しい選択もわかります。「入院患者が出ないことを祈っている」と、担当の Fr. ルーイがいつか報告に書いていました。

顔半分に広がった皮膚病を直して、すっかり自信を取り戻した同じキアミのリチャードの例もあります。今回のレオポルドの場合は、放置すれば命に関わる症状と判断し、緊急特別支援を決めました。

ジョジョの毎月のクリニック報告にもあるように、当会支援の医療プログラムの場合、入院患者受入先は、通常、ジェネラルサントス公立病院です。ビラーン族のように現金収入の少ない患者の場合、入院費補助システムがあるからです(下記参照)。しかし、今回のように重篤なケースは、施設面で対応できないことがわかり、CMB 本部に近い私立のエリザベス病院が入院先として決まりました。検査、治療、入院費で 3.5 万ペソ (約 9 万円) ほど必要です。今後透析など、治療が長引く場合を考えて、一般市民の皆様のご協力も得たいと思っております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<公立病院の入院経費補助システム>

- ① 患者の家族は、まず村のバラングイ長から、無収入 (低所得) 証明を受ける。
- ② 公立病院の福祉省出張窓口で入院費減免手続。
- ③ 処方医薬品代は、当会支援の CMB ヘルスプログラムが負担
(森田さん現地訪問時のヒアリング情報)



<一見よく太っていて元気にみえるレオ君>

* ジョジョのクリニック報告 - 7 月分より抜粋 -

1 日: キアミ、ボルー、アトゥモロック、バリテの 4 コミュニティーに、それぞれ、教師、地区担当神父、ヘルスワーカーを通じて、使用説明書とともに常備薬 (下痢止め、解熱鎮痛剤、経口ペニシリンなど) を配布。

1 8 日: 「薬草のすばらしい力」という本 10 冊分の支払いを済ませた。1 冊 3 8 5 ペソ。

2 3 日: 2 週間前から高熱、悪寒等が続いていたキアミのマラ、マリタ、アナリ、アーネルの 4 人は、病院での検査の結果マラリアと判明。1 週間入院した。その後、さらに 2 名がマラリアとわかり入院した。キアミのマラリア患者は 6 名となった。

3 0 日: アルキカンで、歯科を含む巡回診療を実施。2 0 2 名が受診した。

— 人材育成 (教育) プログラム —

* 農業、英文、史学、図書館司書、コンピューター。今年度カレッジ奨学生の専攻です。

今年度 HANDS カレッジ奨学生の専攻分野について、奨学生担当ノーマから報告がありました。

Spencer は、電気工学科を希望したが無理だったとか。国語 (フィリピン語) を外国語のように、学校で学ばなければならない少数民族としてのハンディは、カレッジ入学時まで影響が残るようです。

名前	大学略称・学年	専攻	名前	大学略称・学年	専攻
Spencer	N.D.M.U 1 年	コンピューター	Mary An	N.D.M.U 1 年	図書館司書
Susana	//	経営学	Virginia	// 3 年	歴史
Snuria	//	農業	Marriza	// 2 年	//
Doly	//	//	Evelyn	H.T.C 2 年	英語

* N.D.M.U: Notre Dame of Marbel University

*H.T.C.: Holy Trinity College